国際政治経済学Ⅰ

科目ナンバリング　ECO-203
選択必修　　2単位

1. 授業の概要（ねらい）

　世界の政治経済秩序は激動の時代を迎えています。米中貿易戦争などによって「新冷戦」時代が幕を開けたとも言われています。トランプ政権の「アメリカ第一主義」とその政治経済政策は日本をはじめ世界の政治と経済に多大な影響を与えつつあります。この授業では、激動する世界経済秩序の諸問題について、様々な角度から政治経済学的視点で、その背景と原因を学びます。

2. 授業の到達目標

(1)国際政治経済秩序の現状とその歴史的背景について基本的事項を修得します。
(2)それと同時に、世界の政治経済秩序の中で覇権国・中心国が果たす役割について基本的事項を修得します。

3. 成績評価の方法および基準

平常点：60%
定期試験あるいはレポート：40%

4. 教科書・参考文献

教科書
　特になし。
参考文献
ギルピン著　『グローバル資本主義ー危機か繁栄か』　東洋経済新報社
ギルピン著　『世界システムの政治経済学』　東洋経済新報社

5. 準備学修の内容

　講義の後に小テストを実施し、学修内容の習得度を確認する。

6. その他履修上の注意事項

　世界政治経済の動向に関する新聞、インターネット等の情報に関心を持つことを推奨します。

7. 授業内容

【第1回】　序論：国際政治経済学とは何か
【第2回】　市場と制度について学ぶ
【第3回】　覇権システムの盛衰Ⅰ：パクスブリタニカの生成について学ぶ
【第4回】　覇権システムの盛衰Ⅱ：パクスブリタニカの確立について学ぶ
【第5回】　覇権システムの盛衰Ⅲ：パクスブリタニカの成熟化について学ぶ
【第6回】　覇権システムの盛衰Ⅳ：覇権国の移行について学ぶ
【第7回】　覇権システムの盛衰Ⅴ：パクスアメリカーナの生成について学ぶ
【第8回】　覇権システムの盛衰Ⅵ：パクスアメリカーナの確立について学ぶ
【第9回】　覇権システムの盛衰Ⅶ：パクスアメリカーナの衰退について学ぶ
【第10回】　国際通貨体制の歴史について学ぶ（第2回）
【第11回】　国際貿易の政治経済学について学ぶ
【第12回】　地域統合について学ぶ
【第13回】　ポピュリズムの台頭について学ぶ
【第14回】　講義全体をまとめる
【第15回】　講義内容を総括、試験を実施する